

令和元年 10 月 11 日

瀬戸内市議会議長

瀬戸内市議会議員 厚東 晃央

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	令和元年 10 月 7 日
研修会名	施設老朽化時代の公会計情報の活用と地方議会の役割
開催場所	広島商工会議所（広島市中区基町 5-44）
研修目的・内容	<p>施設老朽化時代の公会計情報の活用と地方議会の役割 講師・川口雅也氏 （日本公認会計士協会 業務本部 非営利グループ 公会計担当 研究員 公認会計士）</p> <ol style="list-style-type: none">1、公共施設等の老朽化の現状と、最適化の取組<ol style="list-style-type: none">（1）市議会の質問からみる公共施設等の老朽化の現状 ・福山市議会の例（2）公共施設等総合管理計画と個別施設計画（3）将来更新費用の資産の具体例（4）公共施設等の老朽化に対する選択肢2、固定資産台帳と財務書類の、公共施設最適化への活用<ol style="list-style-type: none">（1）財務書類 4 表の名称と区分（2）固定資産台帳の特徴と区分（3）施設統廃合への公会計情報の活用例3、財務書類の残された課題<ol style="list-style-type: none">（1）所有外資産 <p>研修のまとめ</p> <ol style="list-style-type: none">1、まずは現在作成されている「固定資産台帳」と「公共施設等総



	<p>合管理計画」を用いて、各地方公共団体の公共施設の現状を把握する</p> <p>2、無理に先進団体のまねをする必要はない ⇒全事業の財務書類を作るなど全く無意味 すべての固定資産について「固定資産台帳」による金額把握は可能である 改めて別資料を膨大な労力をかけて作成する必要はない</p> <p>3、議論になりそうな施設、地域等の絞り込みを行う ⇒絞り込んだ施設等は徹底的な分析や、これまでの資料以上に詳細な将来シミュレーションを実施する</p> <p>4、数値を用いて議論の輪を広げていく</p>
<p>所感</p>	<p>公共施設の再編など資産管理と大きく関係する政策を審議する際には、公会計の資料を活用して行くことが必要である。しかし、その資料等を活用するためには、その使用を的確に見る力を養う必要がある。国等にも提出し、広く公表されるものなので、施設等の現状を把握するのに効果的だと感じた。しかし、必要な箇所だけ抽出し、活用するのは難しいので、まずは学校施設など限定したものの参考にできるようにして、質問等の根拠として活用できるようになる必要があると感じた。</p>